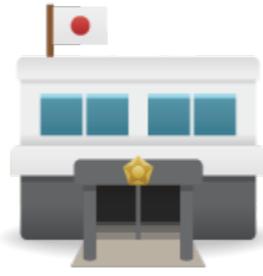


## 警察署（公的施設）の建替え・維持管理問題

笹子トンネル崩落という痛ましい事故により注目が集まった「公的な施設を今後どのように維持・更新していくか」という問題はもちろん警察署や信号機についても当てはまります。

高度経済成長期より続々と建てられたコンクリートの施設等が今、50年の経過により次々と補修や建替えを必要としてきています。

人口減少が進みはじめた日本においては、“国土強靱化計画”のもとに既存施設の全てを建替えるのではなく、更新の機会にあわせてコンパクトで効率的な施設配置を考え直す必要があるのではないでしょうか？



### 警察署の機能

= 事件の**捜査本部**が置かれたり、休日・夜間の**捜査員の当直**など地域警察活動の拠点としての機能を持っています。

\* 捜査本部が事件の発生現場から遠ければ、捜査に支障が出ますが、狭い市域であれば、むしろ統合によって**当直の捜査員数を確保でき、急な捜査にも対応**できるなどの利点があります。

### 例えば 尼崎市の場合

人口：46万人  
面積：50km<sup>2</sup> \***実質的に4署ある状態**  
警察署数：3署（北、南、東署）+1分署（西分署）

【比較】  
姫路市：人口 53万人  
面積 534km<sup>2</sup> \***尼崎の10倍以上の面積**  
警察署数：3署（姫路、網干、飾磨署）

留置場の確保など施設が手狭になりつつある現状も当然考慮せねばなりません、建替えを契機に例えば、北署と南署の2署体制に集中強化することも検討すべきだと思います。

警察署は大きな駅の近くや国道沿いのいわゆる一等地に建っているため、統合ができれば空き地に新たな開発（まちの活力）も期待されます。

【参考】  
神戸市：人口 13万人 \***統合検討の余地がある**  
中央区 面積 28km<sup>2</sup>  
警察署数 2署（葺合、生田署）+ 県警本部

### 【略歴】

北摂第一幼稚園（湊川学園）武庫が丘小学校、狭間中学校、北摂三田高校、関西学院大学（法）卒業、甲南大学法科大学院修了（専門職法務博士）

平成 23-24 年 農政環境 / 25 年 ~ 警察常任委員会所属

発行：兵庫県議会議員 中田英一 事務所  
所在地：三田市三輪 2-1-12 丹商ビル 303  
県政報告サイト：nacata.net

## 信号機のはなし

県全体で約 **7200** 機あり、現在も多くの新設要望があげられていますが予算は少なく、交通量の減少などを理由とする撤去はほとんどありません。

### 費用

- ・新規設置費用： 1箇所 **約300万円**
  - ・維持管理費用： 電気代 **約5万円**（1年間）  
消耗部品メインコンピューター **約120万円** 他
- 合計 年間あたり **10~20万円** の維持管理費



\* 県全体で見れば年間の維持管理費だけでも相当額に達しており、**ただ設置数を増やすのではなく“新設と維持管理の関係”を考える時期ではない**でしょうか。

- ① 信号機の設置基準のひとつになる“**交通量**”は住民数や年齢構成、街の変化に伴って増減します。人口減少（過疎）が進む地域では信号機が不要になる箇所もあるでしょうし、反対に交通不便になり車での移動が増えれば新たに信号機が必要になる箇所が出てくることもあるでしょう。  
例えば、約120万円する**メインコンピューターの交換時期（20年）を契機に設置箇所の再検討（不要になった箇所は撤去して必要性の高い箇所への設置）を進めるべき**です。
- ② もうひとつの設置基準として、「自分を守る力がまだ足りない子ども達の安全」すなわち“**通学路の安全**”は最優先にされなければなりません。

ゆりのき台の交差点（通学路）で小学生がケガをする事故が発生しましたが、その交差点は、横断歩道の手前にバス停があり、停車しているバスを追い越して交差点内に入ろうとする車からは横断歩道の子どもが見えなくなります。

また、JR三田駅北側が整備されましたが、ロータリーへの進入路には信号機が設置されておらず、駅へ急ぐ車のすぐ隣が通学路になっています。市道整備との関係もありますが、必要箇所への整備（迅速な対応）を進めなければなりません。

三田市内

## 暴力団追放条例

暴力団追放センター：078-362-8930  
(やくざゼロ)

平成 23 年に施行した兵庫県に続き、三田市も 24 年に暴力団排除条例を施行、また兵庫県警三田署および「暴力団追放市民の会」の活動等の成果によって、三田市における暴力団組事務所（届出）が平成 24 年に 0（ゼロ）となりました！

\* しかし、これは市民・関係者の努力によって得られたもので、永続的に約束されたものではありません。何時「誰の縄張りでもないから進出しよう」と企てる暴力団が出てくるかも知れません。

近年、構成員が減少し準構成員が増加する現象（非公然化）やなりすましが進んでいます。巧妙に侵入してくる暴力団に対して、警察等への相談も利用し、市民の意識を高めるという「最大の防御」で三田の平穏を守りましょう！

